

令和2年度 大阪府立旭高等学校 第3回学校運営協議会

日時：令和3年2月16日（火）（書面開催 最終ご助言聴取日）

委員

会長	森 勇太	関西大学 准教授	ご助言聴取済
	辰巳 千佳子	大阪市立旭陽中学校 校長	ご助言聴取済
	北浦 正美	大阪市立高殿小学校 校長	ご助言聴取済
	佐藤 章子	平成30、31年度 P T A副会長	ご助言聴取済
	上江洲 弥生	令和2年度 P T A会長	ご助言聴取済
	寺前 里美	令和2年度 P T A会計	ご助言聴取済

■ 送付資料

- 令和2年度 学校経営計画および学校評価（A3 両面刷り2枚）
- 令和2年度 学校教育自己診断（A4 片面刷り7枚）
- 令和2年度 広報活動（A4 片面刷り2枚）
- 令和3年度 学校経営計画および学校評価（案）（A3 両面刷り2枚）
- 令和3年度 使用教科書一覧表（A4 片面刷り1枚）
- 令和3年度 入学生教育課程（A4 片面刷り1枚）

■ ご意見・ご助言（同趣旨のご意見はまとめさせていただいております）

1、「令和2年度 学校経営計画および学校評価」について

- （「授業アンケート」「学校教育自己診断」で、生徒の肯定的な回答が昨年度より多かったことについて）、コロナ禍の中でも学習に集中できていたということと思う。英検・部活動等△の項目は、仕方ないのではないかな。むしろ大きな混乱なく1年を終えたことがよかった。
- コロナ感染者が出たときにも、適切な情報をライデンメールで流してくださり安心できた。
- 旭高校の特色である国際交流に制約があったのが残念。
- 進路結果について、全体的に受験に対する関心が低いように思える。友人間で受験の話をすることも少ないようである。目標を高く持つことができる環境、雰囲気があれば、目標も達成できるのではないかな。

2、「令和3年度 学校経営計画」について

- 特に修正することはない。来年度も不透明な状況であるが、教員と生徒でよく意思疎通をし、学校生活を安定して継続させることを最優先に運営してもらいたい。
- 国公立大学+難関私立大学現役合格者が200名というのは、少し高い目標のように感じるが、期待したい。
- 社会の課題について日常的に関心を持つとともに、SDGsの諸問題を解決する思考力、判断力、表現力を持つ高校生を育てていただきたい。

- 旭高校を希望する生徒は、やはり国際交流や行事を期待しているので、今後も充実させてほしい。

3、 添付資料についてのご助言

《学校教育自己診断について》

- 毎年、保護者・生徒・教職員にアンケートを取り、1年間の活動を振り返り、検証していることはたいへん良い取り組みである。今後も続けていくべきと思う。
- 主要な行事ができなかったにもかかわらず、前年度よりも肯定的な回答が多かったのは望ましいことだ。工夫しながら学校運営を進めていると考えられ評価できる。
- （保護者設問「子どもは授業が分かりやすく興味深いと言っている」の肯定的回答 41.3%と、生徒設問「授業はわかりやすい」の肯定的回答 66.6%に見られる）保護者と生徒の回答の温度差は、学校からの保護者への情報発信で埋まるものと思う。保護者の安心にもつながる。
- 施設・環境面での改善の希望が多く寄せられている。予算など行政への要望を引き続きお願いして、少しでも快適な学校生活を送れる様お願いしたい。
- 平日の家庭学習時間 0～30 分の生徒が、約 40%もいることに驚いている。課題ではなかろうか。
- 質問項目に「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」とあるが、中学でも人権教育については力を入れて取り組んでいるところである。高校でも引き続き、人権教育を受ける機会を重視してもらいたい。

《広報活動について》

- 今年は苦労が大きかったと思うが、動画を作成したということなのでオンラインツールを利用するなどして、引き続き旭高校の魅力を発信していただきたい。

《教育課程について》

- 国際教養科 2 年次の「異文化理解」が、主に英文法の授業だったようである。多文化理解教育の推進を大きな目標とするのであれば、多文化理解=英語力だけではないと思う。月に数コマでも異文化に触れ考える授業時間を作っていけないものか。
- 第二外国語について、2 年間 2 コマずつと相当の授業時間があるので、レシテーション大会の他にも、各国語の検定試験合格（CEFR の A 1 – 2）を目指すなど目標を設定されてはいかがか。

4、 その他学校全般についてのご助言

- 来年度もコロナの影響はあるであろう。生徒も教職員も課題が多いと思うが、PDCAをフル活用して、多くの行事が行われることを願う。
- 休校や特別対応を強いられる中、生徒が勉強に向かえるように、先生方が努力してくださり、その結果、アンケートからは生徒の満足感も見られ、全体としては一体感のある運営がなされていたのではないだろうか。来年度以降もさまざまな困難があると思うが、先生方・生徒・保護者のコミュニケーションを絶やさず、旭高校の魅力がさらに高まるように努めていただければと思う。